

倒産処理法Ⅱ

科目ナンバリング CIL-309
選択 2単位

中田 利通

1. 授業の概要(ねらい)

「倒産法」というと特殊な専門分野と思われるが、人や企業が経済的に行き詰まって破綻することは世の中に多く、よくニュースにも出てきます。

コロナ禍で企業倒産や個人破産はとて身近で重要な課題になっています。破綻した企業や個人の債権債務は基本は民法により決まるが、これを集団的に処理するのが倒産処理法です。

つまり、倒産法は民法などを前提としており、逆に倒産法を通じて見ることで民法などの理解を深めることができます。

講義では、民法との関係を重視しているので、民法の延長として受講下さい。民法の理解を深めたいと思う学生にも有益です。

また弁護士として取り扱った事件のエピソードなども題材にして講義します。

前期は、清算型の「破産法」を中心に、後期は、再建型の「民事再生法」を中心にその基礎を学ぶ。

2. 授業の到達目標

- ①倒産法、特に「民事再生法」の基礎を理解する。
- ②その他企業再生に関する法の基礎を理解する。

3. 成績評価の方法および基準

最終授業での授業内試験(80%)、出席率受講態度(20%)の目安で総合して判定。

4. 教科書・参考文献

教科書

森公任監修 『図解で早わかり 倒産法のしくみ』 三修社

参考文献

小林秀之著 『新・破産から民法がみえる一民法の盲点と破産法入門』 日本評論社

5. 準備学修の内容

プリントを中心に復習しておくこと。

6. その他履修上の注意事項

授業時は必ず六法を持参すること。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス・前期の破産法の概要
- 【第2回】 倒産処理の概要
- 【第3回】 再生手続の概要
- 【第4回】 再生手続が実体関係に及ぼす効果
- 【第5回】 再生債権者
- 【第6回】 契約関係
- 【第7回】 機関・財産査定
- 【第8回】 中間テスト
- 【第9回】 再生計画案
- 【第10回】 個人再生(1)
- 【第11回】 個人再生(2)
- 【第12回】 会社更生法の概要(1)
- 【第13回】 会社更生法の概要(2)
- 【第14回】 M&A その他
- 【第15回】 まとめと試験(場合によりレポート)